

議事録兼報告書

会議名称	第1回伊那市行政改革審議会
日時	平成24年8月1日(水) 14:00~15:10
場所	庁議室
議題	平成23年度 行政改革の取組結果について 平成24年度 行政改革の取組内容について 平成24年度 行政評価(外部評価)について
議事内容	
1 開会(総務部長)	
2 委員の委嘱	
3 あいさつ(市長) ただいま、委員各位に委嘱書を交付させていただきました。2年間お世話になるが、よろしくお願ひしたい。当審議会においては、簡素で効率的な行政運営を行うことを目指し、委員各位には、様々な視点から御意見を賜わりたい。現在、1週間から10日の間隔で市民との懇談会を行っている。その中で、スピード感のある行政、あいさつのできる職員など市民の皆さんからの生の声をいただき、うれしく思っている。外部評価は、平成21年度から取り組みを開始し、今年度で4年目を迎えている。市民にとって真に必要なサービスが提供できるよう御協力をいただきたい。ただし、すべてのことを一斉に変えることは難しい。委員各位の御意見を受け止めながら、一步一步確実に、自らがその先頭に立って改革を進めていきたい。お世話になるがよろしくお願ひしたい。	
4 自己紹介	
5 会長・副会長選出 委員の互選により選出 会長：上野山登委員(関東信越税理士会伊那支部) 副会長：前田久子委員(伊那市議会)	
6 協議事項 (1) 平成23年度 行政改革の取組結果について ①行政改革大綱の取組結果について —資料No.1に基づき事務局より説明— (特に意見なし)	

②行政評価の取組結果について

—資料No.2に基づき事務局より説明—

- ・過去の外部評価のその後の取組状況について、情報提供していただきたい。例えば、平成22年度には、「鍼灸施療事業」を外部評価の対象事業として実施し、「廃止」という評価結果が出されている。しかし、その後の市のPR等の取り組みが良かったため、現在では予約するのに1カ月程度かかるなど利用者が増えているとのことである。こういった状況を情報として確認したい。(委員)

→昨年度も同様の意見をいただいている。本年度は、外部評価実施後の追跡調査を実施する予定である。ただし、調査は単年度の確認でよいものと複数年度にわたって確認が必要な事業があるため、事業により対応したい。(事務局)

(2)平成24年度 行政評価の取組内容について

—資料No.3に基づき事務局より説明—

(特に意見なし)

(3)平成23年度 行政評価(外部評価)について

—資料No.4に基づき事務局より説明—

- ・市の内部評価においてどのような検討がされてきたのか、外部評価に先立ち、行政としての考え及び方向性をまず示してもらいたい。そうしなければ、事業に精通していない委員が、適切に評価できないと思う。(委員)

→御指摘のとおりである。内部評価の結果については、外部評価の作業に入る前に委員各位にお示ししていきたい。また、行政としての考え及び方向性についてであるが、外部評価は市民の視点ということが一番大切なポイントであるため、事前に市の考え及び方向性を示してしまうと評価結果を誘導することにも繋がってしまう。この点は御容赦願いたい。内容については、外部評価の中で担当課長又は担当係長から確認していただく場を設けるので、その場で確認をお願いしたい。(事務局)

- ・行政の考え及び方向性を押し付けるという意味ではない。例えば、「個人住民税申告相談」のe-tax(国税電子申告・納税システム)化が進んでいることから、窓口に来る市民は減っているのが現状である。ただし、そういう現状だけで委員が「廃止」という判断をしてよいのか。行政としての主体性をまず示してもらいたい。(委員)

→確かにe-tax化の進行より、申告相談で窓口に来る市民は減っているのが現状である。また、会場としては、本庁の多目的ホールを2カ月間独占的に使用しているのが現状であり、高遠及び長谷総合支所でも申告相談を実施している。利用者が減少している中で、現在の方法がよいのか、他の方法がよいのか、総体的な観点からも評価をお願いしたい。(事務局)

- ・事務局提案のとおり12事業を外部評価の対象としてよいか。(会長)

◎委員了承

—資料No.5に基づき事務局より説明—

- ・次回以降の会議の日程調整はしていただけるのか。(委員)

→正副会長を中心に事前に日程調整をさせていただく予定である。また、各委員においても都合が悪い日があれば事務局に御連絡いただきたい。

—資料No.6に基づき事務局より説明—

(特に意見なし)

7 その他

(特に意見なし)

8 閉会（会長）

以 上